

刊夕日十三月七

常 報 日 新 聞

定價 一月五元 三月十五元 半年三十元 一年六十元
 廣告料 五號十二字 第一行五元 拾行十元
 日曜祭日の翌日休刊
 發行所 東京市神田區平河町三丁目
 電話 六三〇番
 印刷所 東京市神田區平河町三丁目
 電話 六三〇番

白土會の

謠曲を聞く (一)

H M 生

時間と云ふに平の人の顔は見えず四倉、好問、湯本の顔の揃つてゐたのには驚かされた。時間は守れないものか？その爲竹生島は抽籤となつた、ワキ、次第、名乗、道行と無難に進んだ

此の節、此の人の謠を聞いた事があるが、今日の謠振りを聞いて上達されたことに感心した。やはり藝は熱心にしなすとか!!

シテは白土會 新進とか最近その進境の跡を示され品のよい謠であつた。位取り音量、節竹生島のシテとして申分なし。ツレハ四倉

ノート

一錢の金があれば

時間、十六燭瓦斯入電球五時間、アイロンでシャツ八枚、ハンケチ百枚、扇風器五時間、ラデオ廿時間、反射ストーブ廿四分の電力が使用出来る。

での第一人者全くツレと云ふ気分をのみこみシテを助けて謠はれたことには敬服した。欲を言へば連吟に於いて互に遠慮せられ不揃の處があつたのは残念だつた

しかし一貫して氣持よく拜聴した。

『小袖會我』は湯本の初心の人とかそれにしてもかなりの出来であつた、初心者と思はぬ處もあつた。折角此後の御練習を祈る。櫻川御福人組の唯一番である。老練家様にその非の

明日の献立
 朝 味噌汁 葱 小付
 胡瓜印籠漬
 晝 金平牛蒡
 晩 ライスカレー

打所なく、狂文物の氣分をよくかみわけて謠はれたこととは嬉しかつた。櫻川と云ふ謠は長くてよく聞かれるものだが氣持よく拜聴した。ワキ清野夫人には申分なく男、藤田夫人はくいたりない役で残念でした。シテ谷口夫人はいつものながら感心させられることながら思ひ切つて謠はれたことで自身よく曲に投じ大膽に謠はれた。

『源氏供養』四倉は現在謠曲の沈落期にあるとか、村上氏新進の二君を連れて、氏の難曲三番目物をうたはれた。村上氏の達者なことは兼ねて聞いてゐる。今日は一箇所でよいからその非をとねらつてゐたに到々

終曲まで筆を取ることを忘れさせられた、よほど練習されたかな？



月見草

清水 元治

静かな月のてる宵に
 静かに咲ける月見草
 人里遠きこの野邊に
 一人さびしき咲き出で、

あまり人目が遠ければ
 やさしき人の目にふれず
 あまりわびしき影なれば
 思ひをかける人もなく
 月の静かな宵々を
 さびしくそよぐ汝が姿

耳鼻科専門

大和田醫院
 平町南町一六(電話一七〇番)

是非!

御融通には御利用下さい
 萬事便利な御相談に應じます

三井質店
 平四・電六〇六番

高久病院

院長 醫學士 高久 忠
 副院長 新潟醫學士 赤羽 清
 藥局長 藥劑師 佐竹 菊雄

内科小兒科
 耳鼻咽喉科
 外科花柳病科
 レントゲン科

平町田町 電話五一三番

● 店員募集
 年齢十五、六才、希望者は至急来店あれ

玉屋洋品店
 平町田町通電話六五五番

夏服

シルクボーラー三ツ組 拾六圓五十錢
 セファール折襟上下 八圓五十錢
 黒セル立エリ上下 八圓五十錢
 白セル立エリ上下 七圓三十錢
 トレーニングパンツ種々入荷

白カシミヤ上衣
 日セルズボン
 白ヤバズボン
 黒セル立襟折襟上衣
 白グラニツトズボン

平町四丁目
 正札堂洋服店
 電四三六番

謹告

小生儀昭和七年全日本國民同盟の組織せらるるや推されて同會長の任に就き續いて黨議に基き同會機關紙全日本國民同盟新聞發刊の計企あり翌春創刊の運びに至り同志等により廣告の募集等致し居り候處突然余の滿州行となり二三ヶ月にして歸郷致す可きの處滿鮮臺及北九州等巡歴し思わす延引致し候此間黨員として同志等の行爲に對し聊か余の意に添はぬ点有之今般同會長の任を辭し候從つて同新聞關係を茲に清算致し度く就ては余の責任として一切の結末告げ度く候へ共廣告申込の會計狀態不明の点多く整理上困却致し居り候間此際當時廣告御申込候方々は至急左記へ御一報賜り度く延引ながら御返金申上候追て各位に對し御迷惑相掛け候段深く陳謝致し候と共に此段謹告仕り候

平町一ノ一 鈴木サキ方
 (旅中にて) 伊東 一

鼻病、腦病 化學治療薬 ビノサン

小壹圓貳拾錢、中貳圓、大五圓
 蓋膿症其他鼻病と頭痛症神經衰弱等の諸症が簡單にして他に類の無い一日一回の用藥で手軽に僅かな費用で治療の出来るビノサンが發表されました今すぐ用て劃期的快癒の喜を得て下さい
 御來店の方に鼻病説明書無代進呈此廣告
 御持參の方に一人一回試薬致します

福島縣平町白銀町五(千代メッキ店裏)
 石城郡特約店 村山書店
 販賣御希望の方特に御相談に應ず。

月曜是非

我等の代表

野球選手が卒業後の賣れ口が良いと云ふ事に依つても、野球が単に體育練磨の捷徑であると云ふ事以上に深く生活に根ざした意味に於いて、今では學課と共に必須な、重要性を帯びて居る。

此の點から中央と地方を問はず、各學校が野球の獎勵に相當の犠牲と努力を注ぎつゝあるは、寧ろ時代に順應せる遣り方であり、實際に即した方法であらう。殊に中等學校の内でも實業教育を主とする學校は、卒業後直ちに就職を開拓せねばならぬ條件に迫られて居る丈に、一層その捌け口に好條件を具備する意味に於いて時代の要求に投ずべく、斯道の向上に精進せねばならぬであらう、此處に野球熱の普及徹底がある。

學校野球の進展に對して斯かる考察は一種の捉はれた見方であり、餘りに實質的であるかも知れぬが、吾人は實際に即して忌憚なくさう云ひたいのである。然ればこそ、今回の縣下大會に於いて平商校が東北豫選出場の覇權を握つた事を喜ぶものである。一日僅か四錢の副食物に依つて涙ぐましい迄の奮闘を繼續した平商の戦士が、將來卒業に際して、現下の就職難時代に介在し、優先權を持つ事は、彼等が力

に對する代償として當然であるが更らに、彼等の健闘に依り學校の名を輝かし、所在地平町を擴く天下に紹介する上にも大きな力となる、『我等の代表』である確固たる理由も此處に存するのである。

斯くして我等の戦士は郷黨の輿望を擔つて明日仙臺に向ふのである、吾等は其の行を壯ならしめたい、そして彼等を勝たしめたい、彼等の勝つ事は、吾等の勝るのである。

つ事である國家の生命線に活躍する將士に銃後の支持を必要とすると同様に、彼等が勝つも破るも背後に存る吾等の責任に歸するの信念を堅持して、『我等の代表』の優勝を祈念したいのである。

酒と醬油が

其順位を轉倒

平町の主要生産物

昨年七月より去月末に至る一ケ年間の平町各種生産物は左の如く合計百五十五萬六千三百六十八圓の巨額に達してゐる之を平町全戸に割當ると一戸三百二十二圓二十二錢、一人平均五十六圓二十七錢となる、これら各種生産品の

地位の轉倒したことは興味多く注目されてゐる(括弧内の數字は價格を示す單位圓) ▲米二七六〇石(五四五八二) ▲麥五七二石(四二六二) ▲食用各種農産品(四四〇八) ▲梨二〇八〇貫

(四一六) ▲柿二一〇〇貫(三二六) ▲その他果實(一八五〇) ▲春蠶二五七貫(五〇六) ▲夏秋蠶二八〇貫(一〇〇〇) ▲蠶糸(六九九二) ▲酒四七二石(三八〇六〇) ▲醬油二二八石(四九〇〇〇) ▲その他工

産物(五七七一三八) ▲畜産(九六四六五) ▲淡水漁(六五〇〇)

(二二六〇) 水産製造物

平町の鶏が生む卵の數

一ケ年六十萬個

最近養鶏業益々旺ん

平町に於ける養鶏家は現在五十羽以上の飼育者二十戸を筆頭に合計百四十一戸あるが之等が飼養する雞は雌四千百十羽、雄九百十羽、雄三千六百二十羽、合計七千七百七十羽でこの價額三千六百五十七圓に達してゐる

が昨年七月より去月に亘る一ケ年の産卵數は六十萬九千個といふ龐大な數で一個二錢三厘として一萬五千圓現在平町の副業の筆頭にあるが昨今の農家恐慌の反動を受けて養鶏家は最近益々激増を示してゐる

泉校優勝す

昨日の教員野球

既報郡下小學校職員野球大會は昨廿九日午前九時より參加十二校チームが第一校庭始め平商、第三の各球場に於いて試合を開始前年優勝する平第一チームは勿來校に六對三で惜敗優勝の夢を破られたが地元、第二、第三の兩校は平商グラウンドに於いて第一回戦に同志討術を誇りとする幹部女優として座長の

伊東マツノ嬢外 峰口二美 水木ラン子 東登志子 二村カツ子 國井政子 北村 國子 東百合子 伊東 玉枝 北島静子 波立 光江 松島禮子 伊東 令子

本縣代表

平商選手

明朝仙臺へ

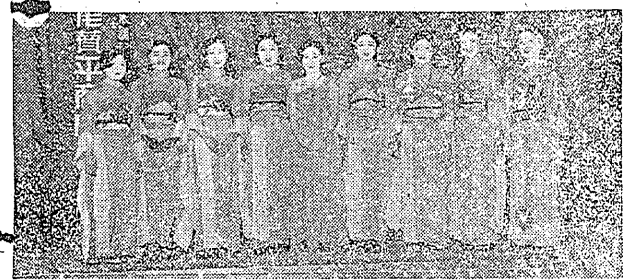
既報本縣代表チームとして八月一日よりの仙臺大會に乗込む平商野球部員は愈々明州一日午前八時十九分平縣發下り列車で出發する一行の宿舎は仙臺市仲島町磐城郷友會館で同日午後二時抽籤の上翌一日より激橋球場で第一回戦を交へる筈

華麗な新舞踊劇をお土産に

伊東一氏歸郷

二日から聚樂館に公開

平町に於て前後二回に亘つて開催された博覽會の中心として郷土の産業開發の爲めに貢献した伊東一氏は其後『國際レジャー園』を組織して滿洲、臺灣、九州等を巡歴中だったが、愈々



來る二日午前十一時十一分平驛着にて一行廿餘名の美女を引連れ久し振りで郷土平町の土を踏み同夜から三日間平町聚樂館に於いて華々しくお土産業を開演する、一行の絢爛眼を奪ふ藝

ウを食ふ日

豚まで側づえ

品不足の肉屋さん悲鳴

「ウを食ふ」昨日の丑の日、町内の蒲焼、肉屋、うどんやさん達は目の廻る程忙しがしく商賣繁昌に久方ぶりに悦に入つたが大衆の支持を最も受ける牛肉屋さん前日まで用意した肉が物凄く需要に供給不足となり當日になつてアアを喰つて屠殺する騒ぎを演じた、この日虐殺の悲運に泣いた(?)モノ——牛七匹、馬六匹、豚十二匹であつたが昨年に較べると牛馬が減少してゐるに反し豚が俄然激増した

夏の陽の微笑に

河童連觸放さるる

本年最初の賑ひ

夏、土用との名コンビ—丑の日の昨二十九日は實に久方ぶりに太陽が微笑み本格的土用の暑さの訪れであつたこと十數日

雨と寒冷のダブルプレーに悩まされてゐた河童連、鑑禁生活から開放された如く海へ海へと進出、この日平驛では午前七時五十分九時四十分と二本の臨時列車を運轉したが平驛からの乗客は

草野行 一、三〇 四倉行 八一〇、久ノ濱行 三八 合計九百七十八人であつたが自動車客も物凄く程で新舞子、四倉、久ノ濱等當日は本年最初の賑ひを見せ

四倉海岸の出入約二千五百を算し臨時賣店にも相當の露ひあつたが海水は永い寒冷のため未だ冷たく海岸の砂も濕つて海水浴には不適であつたと

實習希望児童を 商店其他に配置

既報平町職業紹介所連絡小學校中來卒業後就職する者の夏期休暇を利用する實習希望者四十七名でそれ

各商店其他に配置した希望者の最も多い小學校は好間校の廿七名、湯本十名、内郷二名、平が僅か

釣の競技

新舞子に催す

平釣友會では來月五日新舞子で魚釣競技會を開くが當日は午前四時開始午後四時半終了貫數に依つて入賞名を決定する管參加者約七十名盛況を豫想されてゐる

盗んだ

翌日捕る

今曉二時頃豊岡村字内町漁港飯場戸澤爲三郎方に怪漢侵入しクローム腕時計價格九圓外衣類三点を窃取逃走した事朝になつて家人が發見届出に依り同村駐在所で捜査中同日午前九時頃同村

二頭の犬が 旅の道連れ

車を輓かせて 中毒の身を放浪

二頭立の馬車ならぬ二匹の犬の輓く車に身を委ねた癡人同様の男がけふ平町役場に出頭救護方を願出たが右は岡山市花畑町一六二生れ佐藤健太郎(三九)といふ猛烈なコカイン中毒者で吏員から若干の醫療金を恵まれて去つた同人は前記の如く瘡せ果てた犬二頭に牽引させられた箱車に乗つて各所を放浪のざり生活を續けてゐた

第三校の指導 平第一小學校では今回新設された尋常五、六兩學年劍道部員の爲め八月十五日より五日間毎日正午迄劍道の指導を行ふ尚同校では同期間中競技籠球兩部員の指導も行ふ

体操豫行練習 平第一小學校では八月一日より

明日のラジオ

今晩の部

- 後六、〇〇 子供の時間 (子供の科學講座)「海と山」會根廣
- 後六、二五 講演「祖先鏡」に映する、人類の尾に就て」長崎醫大教授
- 後七、三〇 講演「帝國憲法と國際問題」法學博士 清水澄

明日の部

- 後八、〇〇 常磐津「三世相錦繡文章」常磐津文字 豊志
- 後八、三〇 「詩の朗讀」富田碎花
- 後八、五〇 浪花節「博多の孫」(六) 京山小圓
- 後九、三〇 時報「ニュース氣象通報」番組豫告

フールド(終)

- 大毎運動部員 織「幹雄
- 前七、二〇 聖典講義(終) 加藤咄堂
- 前九、一〇 料理献立 佐藤つぎ
- 前一〇、三〇 母の講座「學齡期の子供の心理」五關西學院教授 今田 恵
- 後〇、〇五 ヴァイヤリンとピアノ 東儀哲三郎
- 後二、〇〇 家座婦人講座「綠蔭文話」吉田紋二郎
- 後五、三五 講演「すばい」二十一年を辿る」半澤正二郎
- 後六、〇〇 子供の時間 漫畫劇「吾輩は犬である」

賊の前身は 元本縣巡查

十五犯の老賊と 共に検事局送り

平區裁判所に本日植田署より窃盜前科十五犯と云ふ老賊と元本縣巡查で窃盜前科五犯と云ふ強者が押送されて來た老賊は新潟縣佐渡郡相川町二丁目生れ住所不定無職青木竹四郎(三三)で去る廿日山田村の遠藤彦次郎方物置から白米二斗を窃取した外勿來、錦、石住等で

白米専門に十餘件を荒して檢査されたものでまた巡查上りの窃盜犯人は西白河郡五河村字暇宿生れ住所不定窃盜五盜富岡常造(四〇)で本月廿五日より二日間上遠野村字根岸中田三十方に宿泊し宿料一圓六十錢を踏み倒し浴衣一枚を窃取して檢査されたものである

武装移民の慰問品 百廿餘山と積まる

平第二小學校では既記の如く滿洲武装移民として滿蒙の第一線に活躍しつつある移民に慰問品を送つて慰

安すべし本日全校児童より第一回の慰問品を取纏めた處煙草各種古雜誌、齒磨、石鹼、タオル、手拭等の日

第三回漫畫劇場

- 後六、二五 講演「山の成因」東京帝大教授 加藤武夫
- 理學博士 加藤武夫
- ◎納涼演藝大會◎
- 後七、三〇 落語「源平盛衰記」林家正藏
- 後七、五〇 落語「羨夫婦」三遊亭圓遊
- 後八、一〇 落語「たらしね」柳家三語樓
- 後八、三五 音曲「吹き寄せ」三遊亭圓若
- 後八、五〇 落語「青葉」桂福田治
- 後九、一〇 萬才「夏期家庭講座」 都家靜代 同 文男

三勝二敗で 磐女第三位

籠球部歸る

既報警女籠球チームは去る廿七日福島女子師範コートに開催された縣下女學校籠球大會に出場し縣下選り抜きの五チームと對戦奮闘せる結果喜多方、會津、安積三校を敗り師範白河の兩校に惜敗して優勝権を失つたが三勝二敗の戦跡を残し第三位を獲得昨夜八時四十分平着列車で歸平したが同チームの成績左の如くである

(A組)	磐女	13	12	喜女
	同	12	7	會女
(B組)	磐女	8	16	師範
	同	20	18	安積
	同	8	14	白河

浮名町の調子 近斬立首頭

(藤原上院及上院)

田邊南龍(作)
山本英春(書)

九六

卑怯な暗みうち

櫻川は後へ退つて来ると田の中へ自分で足を踏み込らして落ちました。起き上がりつて刀の柄へ手を掛けて、目を睨つて耳を引つ立て居ると、ビュー〜と太刀風が聞える。櫻川は大いに驚き、提緒を取つて襷十字にかけ、手拭で向ふ鉢巻をして、様子を窺つて居ります。櫻川が居るとは知らんから、先へ出越して行つた奴を後から

「オツ」

といふと前へ首が落ちた様子、元の場所へ来て様子を窺つて居ると又一人が刀を振廻して出越して行く

「ヤツ」

といふとやり過ごして置いて此奴も首を前へ打ち落す、占めたと思つてまた元の處で様子を居ります

「八、次郎氣を付けろ」

次郎といふのは鴛鴦次郎吉、八といふのは布反川の八藏

「ハ、ア、さては晝間の負けを恨んで已を暗打ちにしやうといふ黒鷲の所業なるか」

スルト前へ再び、ビュー〜と刀で風を切りながら行く奴がある、透しぬけて

「此奴は若松の兼右衛門に違えねえ」

櫻川の前を行き過ぎやうとするのを斬り付けると、頭が半分ボガリと落ちた

「キヤア」

といつて倒れる奴を首を打落して了ひました

「如何にも櫻川だ、今日の相撲に負けたのを、根に葉に思つて暗討ちとは卑怯な奴だ、清兵衛さんの敵討ちサアこい」

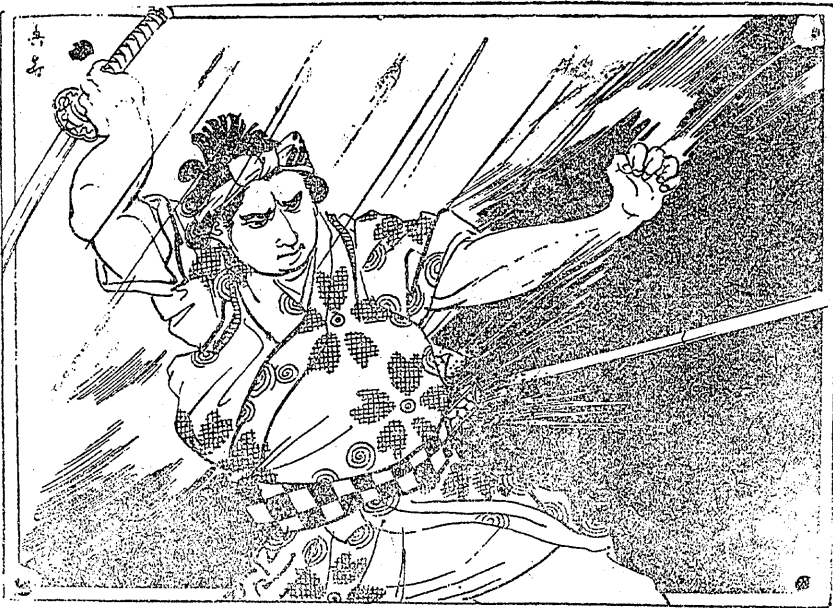
「心得た」

「アツ」

「アツ」

といひながら槍を切つ拂ひ其のまんま通常大體のものなれば此處で絶息するのだが、剛膽な男だによつてムク〜と起きてその竹槍をブーツと引抜きドク〜と出る血汐を拭つて、疵口の

「サア黒鷲身内の奴等何人でも出る…櫻川は達者だ



「兼何うした兼…何うした」

と掛る手許へ突きあつたものがあから、暗とはいへど顔を見合はせました

「オ、汝りや櫻川だな」

りで見える、何しろ清兵衛様は何うしたらう」

と手探りで彼所此所を深して居る後より、何時の間にか庄九郎近寄つて聲も掛けず櫻川の脇腹をブーツリ突いた

「アツ」

といひながら槍を切つ拂ひ其のまんま通常大體のものなれば此處で絶息するのだが、剛膽な男だによつてムク〜と起きてその竹槍をブーツと引抜きドク〜と出る血汐を拭つて、疵口の

「サア黒鷲身内の奴等何人でも出る…櫻川は達者だ

大小を差して立上らうとしたが、何しろ重傷、またドツカリと大地へ坐つてしまひました

「卑怯な奴だ、十郎左衛門の廻し者に違ひない、天下の力士櫻川が雨敵きにあつて往來で相果てるも不本意といつて起つことは出来ず療治をしたつてビツクリビツクリと生きて居る位なら寧ろ此處で一思に死なう」

毎度御引立を載いでゐる

藤寅では例年通り

冷たい美味しい飲物

アイスクリーム アツキアイス
ミルクゼリー ソーダ水
ミックス豆 其他氷水各種

相初めました是非…夏の夕の御散歩歸へりに御立寄り下さい

平一丁目

出前 迅速 藤寅

電話一四一番

かつを 塩から



店理代平命生本日本大最優最
榮盛賀志
(三一二電)目丁四平

看護婦急派 の求めに應 じます

平町南町

平看護婦會

電話三〇七番

市原醫院

平町田町

電話一四四番

開業 整形 外科 専門

レントゲン科

(病院完備)

大河内整骨院

平町搔樋小路四
舊稱
醫學士 大河内一郎

すばらしい新型の

婦人子供服豊富

一流デパート専屬の婦人子供服製造元よりの直仕入たる新型服は店內豊富に陳列してございます。夜の御散歩には是非店内を御自由に御覽下さい。

平町二丁目

山家メリヤス店

電話六〇五番